ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

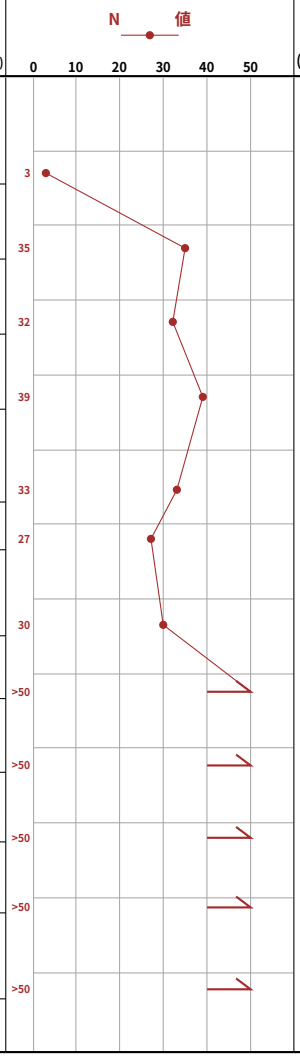
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-2(右岸)	調査位置				北　緯	36 ° 32 ' 04.5000 "
発 注 機 関	栃木県宇都宮土木事務所			調査期間	2009-08-26 ～ 2009-09-04	東　経	139 ° 49 ' 43.7000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	106.78 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	12.36 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	105.83	0.95	0.95		有機質シルト (MO)	黒褐			不均質土。全体的に腐植物混入。含水、粘性小位。		
1	104.53	1.30	2.25		礫混じりシルト (M-G)	黒褐		軟らかい	φ2～60mm、最大70mmの亜角～亜円礫点在。不均質土。含水中位。粘性小位。		
2	103.13	1.40	3.65		粘土混じり砂礫 (GS-C)	褐灰	密な		φ2～60mmの亜角～亜円礫主体に最大φ70mmの亜角礫。マトリックスは粘土混じり中砂。含水中位。		09/02 2.63
3	102.53	0.60	4.25		粘土混じり細砂 (FS-C)	褐灰	中ぐらい		上部10cm粗砂混じる。粒径不均一。		
4					砂礫 (GS)	褐灰～灰褐	中ぐらい		φ2～50mmの亜角～亜円礫主体。5.00～5.30m間コア長6cmの玉石連続的に点在。マトリックスは中粗砂。4.90～5.00m、6.55～6.70m間細砂挟在。7.00～7.15m間コア長5cmの玉石点在。7.55～7.70m間細砂挟在。7.80m以深灰褐色呈す。7.80mにコア長6cmの玉石点在。8.75mにコア長7cmの玉石点在。9.85mからコア長6cm、12cmの玉石連続的点在。12.00～12.20m間粘土混じり細砂挟在。		
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12	94.42	8.11	12.36								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	掘進月日
1.15	2 / 18	1 / 12		3 / 30	3	
1.45						
2.15	3	13	19	35 / 30	35	08/27
2.45						
3.15	12	11	9	32 / 30	32	
3.45						
4.15	4	13	22	39 / 30	39	
4.45						
5.40	10	10	13	33 / 30	33	
5.70						
6.05	6	8	13	27 / 30	27	
6.35						
7.20	12	8	10	30 / 30	30	08/28
7.50						
8.15	28	22 / 8		50 / 18	>50	
8.33						
9.15	23	27 / 7		50 / 17	>50	
9.32						09/02
10.15	50			50 / 10	>50	
10.25						
11.05	35	15 / 6		50 / 16	>50	
11.21						
12.10	12	22	16 / 6	50 / 26	>50	09/03
12.36						



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験